

平成15年1

商工わがのと

平成15年1月1日発行 第473号
(隔月1日発行 定価1部40円)

発行人 石川県商工会連合会
発行所 石川県金沢市鞍月2丁目20番地
〒920-8203 TEL (076) 268-7300

石川県商工会連合会会報

<http://www.ishikawashokokai.or.jp/>



とじ込んで保存しましょう

新県庁舎 1月6日業務開始!

写真左から警察本部庁舎、行政庁舎、議会庁舎です。

行政庁舎の1階正面玄関左奥には、大型映像装置(マルチビジョン)や県政情報端末により県政の情報を得ることができる県政情報コーナー、県の行政や交通事故に関する相談コーナー、情報公開の窓口である行政情報サービスコーナーがあります。19階の展望ロビーは、年末年始を除き毎日10時から20時まで利用できます。

主な内容

- 知恵と活力で中小企業の変革を
石川県商工会連合会長 下出重与茂 ……(2)
- 豊かな暮らしを支える産業社会づくりを目指して
石川県知事 谷本 正憲 ……(3)
- 知事を囲む懇談会を開催 ……(4)
- 第42回商工会全国大会 ……(5)
- 市町村長と商工会長との懇談会を開催 ……(6)
- 容器包装の再商品化(リサイクル)の
委託申込みはお近くの商工会へ ……(7)
- 第5回商工会青年部全国大会
石川大会を開催 ……(8)
- 「貸し渋り・貸し剥がし110番」を設置 ……(9)

年頭のあいさつ

知恵と活力で

中小企業の変革を



会長 下出 重与茂

新年明けましておめでとう
ございます。平成十五年の新春
を迎えるにあたり、謹んで
ご挨拶を申し上げます。

旧年中は、商工会事業の円滑
な推進にご理解とご協力を賜
り厚くお礼申し上げます。

我が国経済は長引く不況か
ら脱却できず、消費の低迷や
デフレの進行するなかで、地
域中小企業を取り巻く経済環
境は大変厳しく、会員企業の
経営は先行きの見えない不透
明な状況が依然として続いて
おります。

国の中小企業政策・小規模
企業政策が「経営革新」、「創
業支援」、「経営基盤の強化」
を中心とした政策へと転換し、
さらに、市町村の合併の機運
が県内各地で急速に高まり、
商工会はいま大きな変革期を
迎えております。

このような状況のなかで、
本会では、昨年十月に石川県
商工会大会を開催し、「変革期
—今こそ出そう中小企業の知
恵と活力—」をスローガンに、

「早急な景気対策の実施」「中
小企業の金融対策並びに関係
税制の拡充強化」などを盛り
込んだ四項目の提言を、一万
五千名会員の総意のもと決議
し、県、国並びに関係機関に
対し、諸施策の早期実現を強
く要望いたしました。

中でも、外形標準課税は、
赤字法人や収益の低い中小企
業への課税強化になることか
ら、強く反対を陳情して参り
ましたが、昨年十二月に自民
党税制調査会が二〇〇四年度
から大企業を対象に外形課税
導入の方針を固めたとの新聞
報道があり、大変残念な気が
いたします。今後とも継続し
て導入阻止に向けて取り組ん
で参ります。

今後とも、商工会が地域活
性化の主導的な役割を担うべ
く、国、県が推進するITを
活用した経営や、創業・経営
革新に対する指導・支援体制
の強化、併せて地方分権や市
町村合併が進む中で、我々商
工会が率先して広域連携指導

体制の整備など組織改革を推
進し、指導の強化を図ってい
かなければなりません。

商工会では、昨年六月から
商工会の指導体制の強化を図
るため、六ブロック、九拠点
の「広域連携指導体制」をスタ
ートさせました。これによつ
て、「より専門的で高度な支援」
を「商工会を超えて広域的」に
行えるようにいたしました。

また、本会では市町村合併
に対応するため、「商工会合併
問題研究会」を設置して、市
町村の合併に伴う商工会のあ
り方を検討しているところで
あります。

同時に、一昨年本会に設置
した「ベンチャー・国際」、「
まちづくり・交通」、「IT」、「
環境・福祉」の四委員会にお
いても、それぞれの課題につ
いて調査研究を進め、時代の
ニーズに適応した事業の推進
や活力ある産業社会への提言
などを行って参ります。

商工会といたしましては、抱
えている様々な課題を克服し、
中小企業が活力を取り戻し、
事業を積極的に推進し、中小企
業の発展と地域経済の活性化
に寄与するよう努力して行く
所存でありますので、引き続き
皆様のご理解とご協力を賜り
ますようお願い申し上げます。

最後に、会員皆様方のご健
勝と地域社会の発展を祈念し、
新春のご挨拶といたします。

謹賀新年

山中町商工会 会長 上口昌徳

根上町商工会 会長 熊本一郎

寺井町商工会 会長 中兼太郎

辰口町商工会 会長 田川剛

川北町商工会 会長 井波好雄

美川町商工会 会長 北村久吉

野々市町商工会 会長 村山和雄

鶴来商工会 会長 和田英夫

河内村商工会 会長 田中博人

吉野谷村商工会 会長 林田繁

鳥越村商工会 会長 谷口力雄

尾口村商工会 会長 林與枝男

白峰村商工会 会長 蔭山哲哉

津幡町商工会 会長 鍛冶秀雄

高松町商工会 会長 小山良一

七塚町商工会 会長 室田治郎右工門

宇ノ気町商工会 会長 横山一彌

森本商工会 会長 架谷由法

内灘町商工会 会長 本出彌治則

年頭のあいさつ

豊かな暮らしを支える

産業社会づくりを目指して



石川県知事 谷本正憲

明けましておめでとございます。希望に満ちた輝かしい新春を、ご健勝でお迎えのことと

心からお喜び申し上げます。県政百三十年の節目にあたる昨年、NHK大河ドラマ「利家とまつ〜加賀百万石物語〜」が放送されたことは、石川の誇る文化を広くアピールできる絶好の機会でありました。とりわけ、「加賀百万石博」は入場者数が百五十万人を超えるなど好評のうちに終了することができ、これも関係する皆様方をはじめ、県民あげてのご協力の賜と感謝しております。さて、最近の本県経済は、生産がIT関連分野の伸びにより持ち直しているものの、個人消費が低調に推移しており、雇用面でも有効求人倍率は引き続き低水準であるなど依然として厳しい状況が続いております。

こうした中、国におきましては、不良債権処理の加速等

により金融及び産業の早期再生を図る「改革加速のための総合対応策」を去る十月末に決定したところであります。

また、一昨年末に破綻した県内大型金融機関の事業譲渡につきましては、十一月に受け皿金融機関に関する基本協定が締結されました。県としては、こうした国の動向等を注視しつつ、引き続き、中小企業の再生を経営・金融面から支援する「中小企業再生支援プログラム」の積極的な活用を図るほか、制度金融の充実に努めるなど、中小企業者の金融円滑化にきめ細かな支援を行ってまいります。

また、依然として厳しい雇用情勢が続いていることから、全国に先駆けて、中高年齢者の職場実習事業に取り組むなど、離転職者に対する就職支援に力を注ぐとともに、若年者に対する雇用施策として「若者就業支援プログラム」を策定し、若年者雇用の充実強

化にも努めており、これらも、できる限りの対応を行っていくこととしております。

一方、「モノづくり再生支援プログラム」を策定し、モノづくり産業の基盤となる技術力の向上を図っているところであり、今後も引き続き、本県のモノづくり産業の再生に総合的な支援を実施してまいります。

このほか、商店街の活性化、ベンチャー企業の育成、経営革新への支援、企業誘致など各種施策を積極的に推進し、県民の皆様方の豊かな暮らしを支える産業社会づくりを目指し、最大限の努力を行う所存であります。

去る十一月末には金沢西部副都心の核となる新県庁舎が完成し、この一月六日から新県庁舎での業務がスタートします。新県庁舎が二十一世紀における石川県の発展を担う県政の拠点として、未永く多くの県民の皆様方に愛されるよう「コスト・スピード・サービス」の質を重視し、県民の皆様方の視点に立った行財政運営」に向けて、さらに努力を重ねてまいります。

最後に、皆様のご健康とご幸福をお祈り申し上げますとともに、県政に対する一層のご支援・ご協力をお願いいたします。新年のごあいさつといたします。

謹賀新年

女性部連合会	青年部連合会	県連合会	内浦町商工会	柳田村商工会	能都町商工会	門前町商工会	穴水町商工会	鹿西町商工会	能登島町商工会	鹿島町商工会	中島町商工会	鳥屋町商工会	田鶴浜町商工会	押水町商工会	志賀町商工会	志雄町商工会	富来町商工会	羽咋市商工会
会長	会長	専務理事	会長	会長	会長	会長	会長	会長	会長	会長	会長	会長	会長	会長	会長	会長	会長	会長
南	梅	大	濱	福	数	釜	木	木	後	池	下	笹	永	勝	南	坂	富	荒
	原	塚	田	池	馬	口	下	村	藤	島	出	川	江	二		室	澤	木
洋	竜	忠	正	嘉	治	和	武	達	寛	重	修	榮	哲	修	哲	正	二	龍
子	一	寿	實	人	雄	一	男	司	雄	仁	与	次	毅	修	郎	昭	郎	平

中小企業景気対策等を要望

中小企業振興懇談会(知事を含む懇談会)を開催

県連合会と広域商工会協議会は、去る十二月三日、「中小企業振興懇談会(知事を囲む懇談会)を金沢市の地場産業振興センター」で開催し、県から谷本知事、本庄商工労働部次長らが、商工会側から各商工会長、青年・女性部連合会の代表者など合わせて約四十名が出席し、中小企業景気対策等を要望した。

冒頭、谷本正憲知事は「石川県の経済状況は難しい状態であるが、皆さん方の意欲的な取り組みをしっかりとサポートし支えていく、そして必要な条件整備や環境面での整備に力を注いでいきたい。」と挨拶した。

引き続き、下出重与茂県連合会長が座長となり、各プロック代表者等からの発言に基づく懇談に移った。懇談内容の要旨は次のとおり。

商工会側の主な発言テーマと県側見解の概要

- 一、県連合会(発言者 北村 県連合会副会長)
- ▽中小企業景気対策の充実に ついて
 - ▽観光振興施策の強化について
 - ▽道路・交通網の整備推進について
 - ▽情報通信基盤の整備について
 - ▽商工会の広域連携、合併支援施策の強化について
- 【知事見解】
- ▽中小企業再生支援プログラ



ムを企業のニーズに沿った形で弾力的な運用ができるよう配慮していきたい。また、中小企業支援センターのニーズが高いので新規設置に前向きに取り組みたい。

今年度は色々なイベントを誘致することができた。今後もアントナを高く張りながらイベントに誘致に努力していくが、イベントに依存しない、自力の強化が大切なのではないかと。

北陸新幹線は、認可申請の段階で認可が下りない状況である。認可に向けて全力を傾けていかなければならない。能登空港については、現在のところ一便のみの就航予定である。複数の就航を目指し粘り強く要請していきたい。

今後情報通信基盤のネットワークづくりを進展させていきたい。

市町村合併に遅れをとることもなく議論を進めていただきたい。その中で、県としての支援について相談に応じていきたい。

二、能美・江沼(発言者 中寺井町商工会長)

- ▽地場産業である九谷焼等の陶磁器産業、山中漆器へのより一層の指導・支援について
- ▽南加賀の観光振興対策について

【知事見解】

安全・安心をアピールしたり、九谷焼と山中漆器が一緒に手を組むなど、消費者のニーズに沿った、少し趣向を変えた取り組みが必要ではないか。海外へのアピールについては、需要があるようであれば検討する必要がある。

観光については、意欲のあるところには県としても積極的に支援をしている。現場のニーズをくみ上げながら、必要な支援をしていくということが大事ではないかと。

三、石川・白山郷(発言者 和田鶴来商工会長)

- ▽石川郡が一体となった道路の開発と整備について
- ▽白山スーパー林道の通行料金の引き下げについて
- ▽石川郡内の市外局番の統一について

【知事見解】

道路使用状況を把握し、国に事情を把握していただくよう申し入れに努力したい。白山スーパー林道は、造成時の費用を未だに回収できずにおり現

段階での無料化は難しい。今後利用量の増加に努力したい。

市外局番を〇七六にするところと一一九とが混線する問題を抱えているようだが、総務省へ再度確認する。

四、河北・森本(発言者 高山松町商工会長)

- ▽金融問題に対する行政指導及び支援について
- ▽県道及び国道の歩道の拡幅等について

【知事見解】

金融機関への検査のため、一部貸し渋り、貸し剥がしが生じているが、将来のある企業の芽まで潰さないように国に申し入れを行いたい。

月浦から白尾間の道路が来年度完成する。この道路により県道一六二号線の交通量がどのように変化するか把握し見極めたい。国道一五九号線の歩道については、今後、交通量の変化を把握し検討していきたい。

五、羽咋郡市(発言者 南志賀町商工会長)

- ▽中能登地方拠点都市地域基本計画における「トライアングル」道路の整備について

【知事見解】

前々からの計画であり、整備の方向で努力していきたい。六、鹿島郡(発言者 池島鹿島町商工会長)

- ▽小規模事業者に対する金融施策の充実について
- ▽石動山の宮坊落成を契機とした周辺道路整備の促進並びに能登空港より鹿島郡地域へ

の交通便利性の向上について

【知事見解】

▽昨年度中小企業の再生支援保証制度を創設している。今後様子を見ながら効果的な運用を考えたい。

▽大宮坊に多くの方が足を運んでいただきやすいよう道路整備を考えていく。

七、奥能登(発言者 木下穴水町商工会長)

- ▽奥能登地域における道路の整備及び各市町村から能登空港間の交通手段の確保について
- ▽能登半島における産業廃棄物利用による循環型産業の育成について

【知事見解】

国道二四九号線は能登半島の大きなネットワークを形成する道路であり、今後整備を着実に進めていきたい。企業誘致を積極的に進めている。今後も雇用の場の確保を地道に積み上げていきたい。

八、県商工会青年部連合会(発言者 梅原泉青連会長)

- ▽コンベンション施設の設備について

【知事見解】

今後大規模なイベントやコンベンションの利用状況を把握していきたい。

九、県商工会女性部連合会(発言者 塚本泉女性連副会長)

- ▽IT定着のための支援策充実について

【知事見解】

- ▽他団体等のIT専門家を積極的に活用していただきたい。

地域経済に活力を!

第四十二回商工会全国大会



去る十一月二十八日、東京渋谷のNHKホールで「地域経済に活力・示せ機動力、創造力、実行力」のスローガンのもと、第四十二回商工会全国大会が開催された。

全国から約三千人余りの商工会員等が集い、本県から下出県連会長をはじめ二十七人が参加した。

内閣総理大臣代理 福田康夫官房長官)、経済産業大臣(代理 西川太一郎副大臣)をはじめ、多数の来賓を迎える中、

清家全国連会長は「商工会は、小規模企業や中小企業の多様化する支援ニーズに機動的に対応していくため、これまで以上に組織改革と人づくりを強力に推進するとともに、創造力を如何なく発揮して失われた企業の活力を取り戻し、地域経済の再生を図るため、全力を尽くしていくかねばならない。地域の更なる振興発展のため、商工会自らが積極的に改革に取り組んでいく必要がある。」とあいさつした。これを受けて、内閣総理大臣代理 福田官房長官は「日本経済の活力を呼び覚まし、グローバルな競争力を高めていくため、新たな事業活動に果敢に挑戦する中

小企業を積極的に支援し、あわせて、不良債権処理の進展に伴う雇用や中小企業経営への影響に対してセーフティネットに万全を期してまいります。今後とも、地域の中小企業の振興、日本経済の飛躍に向け、力強いリーダーシップを発揮していかれることを強く期待します。」と祝辞を述べた。

大会決議

続いて①速やかな総合テフレ対策の実施②外形標準課税の導入絶対阻止及び消費税制の改悪反対③中小企業政策の抜本的拡充等、の重点三項目の大会決議に関する意見表明が行われ満場一致で可決された。また、経営改善普及事業に関する功労者等の表彰式が行われ、本県では柳田村商工会の中小企業庁長官表彰をはじめ、三団体四十二人が表彰された。(被表彰者氏名は左記のとおり)

大会終了後、中小企業関係四団体による「中小企業いじめの法人事業税外形化等阻止総決起大会」が開催された。

本県被表彰者(敬称略)

中小企業庁長官表彰
 ▽優良商工会 柳田村 ▽優良青年部 鳥越村 ▽優良女性部 穴水町 ▽役員功労者 角永善一(鶴来副会長) 西村裕(羽咋市前副会長) 棚田昭男(柳田村副会長) 濱田實

(内浦町会長) ▽女性部功労者 若林和枝(能登島町監査委員) ▽優良常勤役職員 守田茂(根上町経営指導員) 福田松平(志賀町事務局長) 松原利吉(内浦町経営指導員)

全国商工会連合会会長表彰
 ▽役員功労者 金森正昭、石川光良(山中町理事) 田上好道(寺井町副会長) 徳久武(寺井町理事) 入口博志(川北町理事) 本江信喜(美川町理事) 木村裕一(吉野谷村理事) 番場清守(鳥越村理事) 酒井一雄(白峰村理事) 鍛冶秀雄(津幡町会長) 白江賢一郎(高松町監事) 森清行(高松町理事) 坂野嘉久(七塚町理事) 安地和行、中本徹、南守雄(内灘町理事) 山崎哲男(羽咋市監事) 山崎登清(押水町理事) 竹本信太郎(能登島町理事) 近江真雄(鹿西町理事) 田中時孝(内浦町副会長) 上見彰夫、椿原猛、林一秀、新出正良(内浦町理事)

▽青年部功労者 本間雅彦(柳田村部長) ▽女性部功労者 藤村恵子(野々市町部長) 金津美智子(高松町部長) 塚本良美(押水町部長) ▽優良常勤職員 松島久美子(津幡町補助員) 川崎喜久一(能都町経営指導員) 八幡久子(能都町記帳指導職員) 奥野恵子(能都町事務職員) 北野剛(石川県商工会連合会専門経営指導員)

ざらり5,000品目 ふるさとの特産品が大集合 第十七回ニッポン全国むらおこし展

去る、十一月二十九日(金)から十二月一日(日)の三日間、東京池袋サンシャインシティコンベンションホールにおいて「第十六回ニッポン全国むらおこし展」が開催され、本県から、野々市町、白峰村、高松町、鹿島町、鹿西町、内浦町の六商工会が出展した。

全国各地のむらおこし事業により開発された特産品を一堂に

集めたこの物産展は、商品の成果・全国的な普及や関係者の情報交換を目的とした事業者と全国各地の特産品を一气に求めようとするお客さんとで会場は大賑わいとなり、三日間での入場者は十四万五千人に上った。

また、会期中、全国四十七都道府県を代表するミスが参加。本県からは、野々市町の「野々市ミスじよんがら」新屋友美子さ



石川県からは6商工会地区から16事業所の商品が出展された。

んが参加し、「お国自慢&チャリティーオークション」で石川県の紹介とオークションに提供された野々市草木染めのPRを行ったほか、石川県の展示ブースにおいて特産品即売に華を添えた。